

中央研究所 環境保全

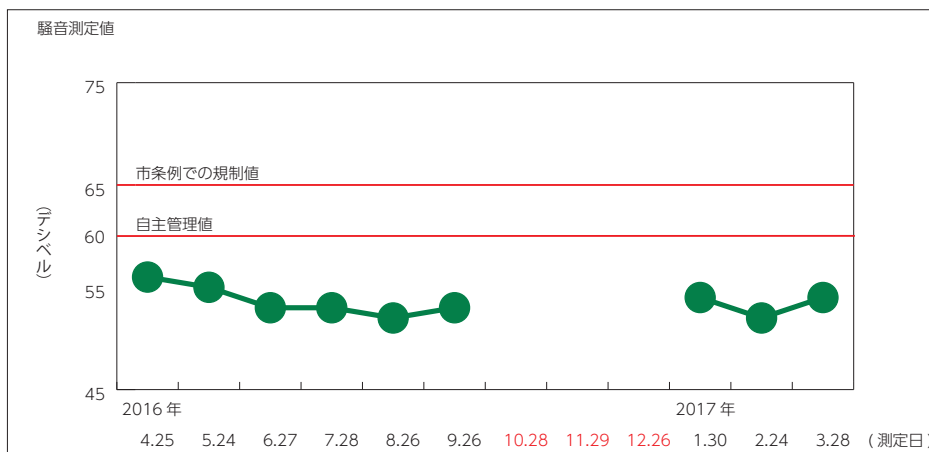
廃棄物の排出状況

(t)

		2016年度
試験済み土壌搬出量		219.8
一般廃棄物	事務系一般廃棄物	9.4
	植物残渣	9.3
産業廃棄物	廃プラスチック類	23.5
	金属くず	9.0
	ガラス・陶器類	8.6
	汚泥(シリカゲル等)	1.0
廃溶媒	引火性廃溶剤・廃油	22.0
廃試薬・廃薬品類	廃試薬、別取廃溶剤	5.7
	廃機器類	2.1
	廃アルカリ	6.0

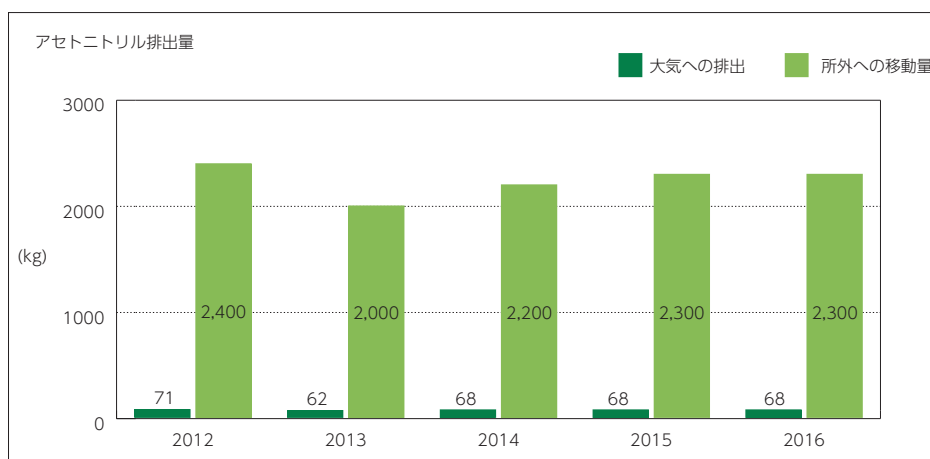
騒音対策

中央研究所は、市条例上「準工業地域」(昼間の騒音 65db 以下)の中に位置していますが、5db 下げて 60db を自主管理値としています。(赤字の測定日については、排水処理工事のため未測定)



PRTR

届出対象物質はアセトニトリルのみです。アセトニトリルはそのほとんどを分析機器の液体クロマトグラフィーに使用しており、アセトニトリル廃液は分析業務に付随して発生することから、大幅な削減は厳しい状況にあります。





中央研究所 社会との対話

2016年12月12日開催 近隣小学校の発表会・交流会

項目	内容
近隣小学生による発表会	5年生80名が来所し、総合学習「滋賀の食文化」について発表。
近隣小学生と所員の交流会	発表会の後、子供たちと輪になって、手作りの「おにぎり」と「ふな寿司」を試食。

2017年9月28日開催 近隣高校の研究所見学会

対象	3年生理系クラス
目的	農薬の必要性や安全性の理解を深める
内容	所内見学と農薬開発に関するプレゼンテーション
感想	農薬開発プロセスを知ることができて、とても良かった等